

キラッと光るデイに“個性化”で変身! 通所介護&リハ

会員制 隔月刊誌

企画/日総研グループ 発行/日総研出版© 通所介護&リハ 第10巻第2号 平成24年7月30日発行(奇数月の30日発行)

2012 7・8 月号



新連載



- 業務改善! デイケアリハビリ職の
マネジメント実践講座
- 看護の専門性を発揮!
デイサービス看護師の
役割確立と業務のポイント
- 今日から始める感染対策 根拠と実践
- なぜ悪い? どう書き直す?
不適切な記録・表現見直し隊!
- 話す・食べる楽しみと喜びを!
生活機能向上! 口腔機能トレーニング

特集

介護報酬改定&
利用者ニーズへの対応!
サービス時間・
提供体制見直し
実践集



既存デイでの機能訓練強化・ サービス時間見直しと短時間型デイ・ 宿泊デイの新規展開

株式会社仁コーポレーション 取締役会長 仁泉 浩

いずみ・ひろし●福岡県婦人保護・救護施設協議会会長在任時(1995~2005年)に、救護施設の新しいビジネスモデルとして、アルコール依存症・覚醒剤依存症やホームレスの自立支援、DV被害者の援護施設的作用を確立したことを認められ、福岡県社会福祉施設経営者協議会協議員、同協議会組織強化委員に就任。全国厚生事業団体連絡協議会協議員、福岡県ホームレス自立支援推進協議会協議員などを歴任。退任後2006年NPO法人セーフティネットNeedsMe理事長就任。2009年より現職。社会福祉主事、福祉施設士、福祉サービス第三者評価調査者指導者。



2012年介護報酬改定を受けて

今日における介護保険サービスなどの受給バランスは、供給過剰なサービスがある一方で、地域によっては居住系サービスの供給不足があり、また本人の状態像によっては、対応できる在宅サービスや量が不足していると言われています。

都市部で人口が比較的多い地域、事業所を起点として半径2~3km程度、人口5万人の圏域を想定してみましょう。例えば、福岡県の高齢化率が22%とすると、65歳以上の人口は11,000人となります。今後は都市部の高齢化が急速に進展するため、2025年になると、11,000人の高齢者がいる圏域では、高齢者の人数は15,000人となるとの予測もあります。このような多くの高齢者ができる限り住み慣れた地域で暮らしを続けるために、国は次の4つの方向性を示しています。

- ①自らの希望と選択でより良いサービスを受けることができ、
- ②施設・居住系サービスも先進北欧国並みに拡充、
- ③24時間対応など多様な在宅サービスをそろえ、
- ④施設も地域に密着した小規模化していく。

国は今後、施設か在宅かの二者択一ではない多様な住まいの整備を目指すと共に、小規模多機能型居宅介護や複合型サービスなどの居宅サービスが充実したコミュニティーを、2025年の地域の姿

としてイメージしているようです。そんな中、通所系サービス事業は、潜在的なニーズを含めた多様なニーズに応える社会資源として、いわゆる「地域包括ケアシステム」の構築に寄与すべきだと考えています。

やぐらもんグループでは、埼玉県の「デイサービスBLUE」に続き、2012年4月、初めて地元博多でデイサービス事業のプロデュースを手掛けることになりました。「デイサービスにこりハ」「デイサービスにコスパ」の2事業所を併設する一般型と短時間型のパッケージ事業で、地域とより密着した事業展開を考えています。

やぐらもんグループの事業概要

やぐらもんグループの社主である私は、金融機関やアパレル商社の海外事業部勤務を経て、29歳の時に社会福祉法人経営の世界に飛び込みました。福岡県婦人保護・救護施設協議会会長職を延べ10年、そのほか短期間ではありましたが、福岡県社会福祉経営者協議会組織強化委員などの役職も務めました。

足掛け13年にわたる社会福祉法人時代のキャリアを土台とし、金融機関時代と商社時代のキャリアを糧に、いわゆる「民間」と「社福」とが融合した思想と理念の下、2009年3月に株式会社仁コーポレーションを設立しました。同年6月には

博多祇園本店の概要

定員：20人

〈利用者像〉平均年齢：81.7歳

男女比：男性37%，女性63%

主な疾患と介護度：要支援1から要介護4まで

要支援1 4.6%，要支援2 10.0%

要介護1 49.1%，要介護2 10.8%

要介護3 21.1%，要介護4 4.4%

〈職員総数および職種ごとの人数〉

職員総数：10人

管理者 1人，言語聴覚士 1人

理学療法士 1人，看護職 2人

介護職 4人，生活相談員 1人

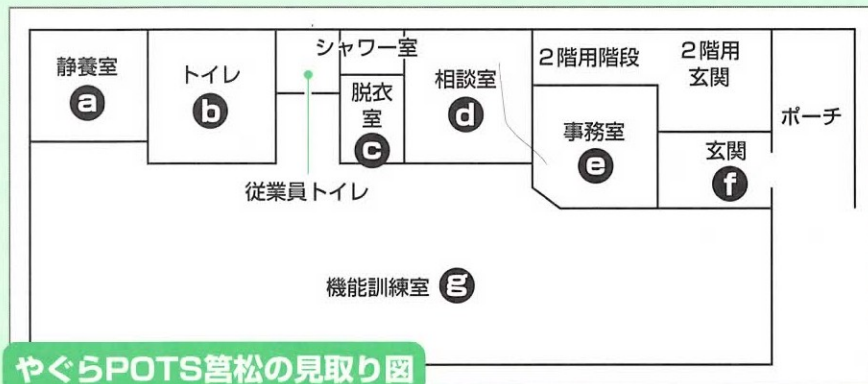
〈併設施設・サービス〉

なし

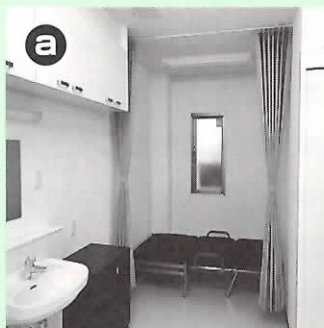
やぐらPOTS一日の流れ

午前の部	9：30～12：45
午後の部	13：30～16：45

ティータイム／バイタルチェック
のびのび体操／それぞれの機能訓練
ティータイム／ふり回りミーティング
お帰りの送迎



やぐらPOTS 菅松の見取り図



福岡市博多区祇園町（旧矢倉門町）に医療法人護健会より宮原医院デイサービスセンターを譲り受け、「デイサービスやぐらもん」を開設。2010年9月には医療法人陣内整形外科内科医院の厚意によりクリニック2階に「デイサービスやぐらもん 菅崎センター」を開設しました。そして、2011年10月には初のプロデュース店「デイサービス BLUE」を埼玉県にオープン、2012年4月には福岡市に「デイサービスにこりハ」の開業をプロデュースしたところです。

また、2012年6月には福岡市東区社領に本社ビルを竣工し、1階フロアに、PT・OT・STといったセラピストによる短時間型の機能訓練特化型デイサービスを新ブランド「やぐらPOTS」として展開しています。

やぐらもんグループでのサービス時間見直し

やぐらもんグループでは2012年の介護保険法改正に先駆け、1月よりサービス提供時間を7時間

15分にしてきました。そのため、4月からの制度改正に順応できましたが、これは定期的な法改正をにらんで仕掛けたわけではありませんでした。常日頃から介護保険制度の指定通所介護事業者としての社会的責務を全うするために、制度を逸脱することなく、いかにその「介護サービス」に付加価値を持たせるかというUSP（ユニーク・セリング・プロポジション）に基づくブランディング経営の結果だったのです。

やぐらもんグループが業界誌などに取り上げられるようになったのは、日中活動メニューが多岐にわたり、かつ各々が本格的であるという理由からでした。地元の居宅支援事業所にも「“楽しいデイサービス”ならば、やぐらもん」と紹介してもらったほどでした。しかし、日中活動の時間は一日の提供時間のうち小一時間程度しかなく、昼食や入浴、機能訓練の時間を除けば、フリータイムと称する時間帯はごくわずかです。その時間が果たして利用者にとって有意義な時間として形成されているのだろうかと考えさせられました。

そこで、当事業所では言語聴覚士を常勤させた結果、方向性が少し見えてきました。さらに、作業療法士を機能訓練の統括プロデューサーとして迎え入れ、非常勤の理学療法士を合わせた3セラピスト（PT・OT・ST）による機能訓練の充実を図りました。

日中活動（レクリエーション）に加え全体での

運動、そして個別の機能訓練に加え全体での口腔機能訓練の充実と、同一領域の機能訓練を必要とする人々への集団での機能訓練の提供をプラスし、一日のプログラムに反映させました。あまり詰め込みすぎると身体的にもモチベーション維持にも負担となるだろうと考えていくうちに形成された時間が7時間15分だったのです。

新しいプログラムを実践するに当たっては、当然、職員の勤務時間の変更が必要となりました。介護・看護スタッフ共に非常勤を活用していたため、まずスタッフ全員に相談し、始業・終業時間をそれぞれ15分ずつ繰り上げ・延長することで、現状のワークライフバランスを損なうことなく就業できる勤務体系を採りました。

その後、試行段階へと進んだところ、利用者の家族から同じような要望が上がってきました。それは、「時間が延びたことはありがたいのだが、家族にとって朝の15分は貴重なため、できれば始業は以前と変わらず9時30分とし、その分、帰宅を30分遅らせてくれるとありがたい」というものでした。

そこで、再度スタッフに事情を説明し、終業時間を30分延ばすことになりました。もともと当社のサービス提供時間が6時間45分だったことありますが、日頃からスタッフとの信頼関係を構築してきたことが大きな力となり、スムーズな移行につながったと思います。

スタッフや家族には理解してもらったのですが、利用者の中にも、新プログラムの影響で長くなった時間帯をさらに賑やかに過ごし、帰宅時間を少し過ぎるくらいまで愉しんでいる人がおり、結果的に7時間30分近いサービス提供時間になっています。

新規オープンの一般型デイと 短時間型デイ

2012年4月に福岡市博多区板付にオープンした「デイサービスにこりハ」（写真1）では、2区画



【写真1】デイサービスにこりハ外観

300m²のテナントを4区画につくり替えてもらい、利用者にとっては快適で、スタッフにとっても働きやすい動線・レイアウトとしました。ここで、通所介護事業所2店舗と宿泊デイを運営することになりました。その際、即対応できるようなスペースを有する介護保険外サービス事業所を1店舗、そしてもう1店舗分のスペースにコミュニティーサロンとして開放できるテラスを設置しました。この2店舗のうち、4月にオープンしたのが短時間の機能訓練特化型デイサービスです。

最近では、福岡でも短時間型デイサービスが増えています。中にはフィットネスクラブのようにしゃれた内装のデイサービスもあり、一方で、コンビニの跡地などにイニシャルコストをかけずに開業したものもあります。一般論で言えば、自由に参入が許され、競争にさらされる市場であることが、結果的に提供するサービスの質の向上になるわけですから、こうした動きは歓迎すべきことです。しかし、介護は専門的な技術と共に提供するサービスでもあり、それがあって初めて利用者の期待や要望に応えられると思っています。人材にコストを惜しむことはあってはなりません。

6月にオープンした「デイサービスやぐらPOTS」のコンセプトをそのまま持ち込んだ「デイサービスにこりハ」は、専門家として十分な知識と臨床の場での豊富な経験を有するPT、OT、STなどのセラピストの手により問題点をすくいあげ、可動域訓練・バランス訓練・姿勢矯正・生活指導などを通して、ADLの中でリスクを軽減していきけるよう「POTS3リハプログラム」に則って機能訓練に特化した介護サービスを提供しています。

POTS3リハプログラムの特徴は、次のとおりです。

- ①安心リハ（マンツーマントライアングル）
- ②愉しリハ（リハミュージメント・パーク）
- ③ファイトリハ（サンドバックde転倒予防）

隣接するスペースに10月にオープンするのが一

般型のデイサービスです。こちらは7～9の時間帯に対応するメニューを基本としています。大きな特徴（USP）は、地域のニーズを掘り起こしたサービスの提供です。近隣には築年数40年近い公営団地があります。住民の高齢化や浴槽の構造などにより自宅での入浴に不安を抱える軽度の要介護者も多いため、そういった不安の解消に役立てるような資源としていきたいと考えています。入浴設備としてはあえて個浴にこだわり、通常より大きい規格のユニットバスを3基用意し、短時間での入浴を主体としたニーズにも応えられる機能を備えた事業所とする予定です。

また、2施設には6～8台の送迎車輛を用意し、一日型での7～9時間からスパ主体の短時間（3～5時間）の利用者と、短時間機能訓練型の利用者にも効率良く対応できるようになっています。短時間の利用を希望する人は自分の時間を有効に活用したいという指向の人が多くと考えられます。送迎の時間も事業所の都合によって無駄に長くなることを望んでいない人が多いとも考えられます。それであれば、乗車定員の少ない小型車両を多く配車し、方位（6～8方位）によって送迎時間のロスをカットしていくロジスティックを選択することが利用者主体のサービスだと考えるべきではないでしょうか。

1台で8人の方の送迎をこなせる大型車両をそろえれば、車輛購入費用や維持費も安価で済みます。経費面だけを考えるのは商業用輸送車におけるロジスティックかもしれませんが、サービス業としてのロジスティックと考えれば、送迎中のコミュニケーション構築やデイでの振り返り、フォローに大きな価値はあるはずです。提供時間が短時間なので、提供時間内にしか目を向けられないということでは、利用者に短時間での良さを十分に届けることはできないのではないのでしょうか。

資料に個別機能訓練計画書と記録簿の一例を示します。

個別機能訓練計画書

作成日：H24 / 4 / 3

次回更新予定日：H24 / 7 / 1

氏名 出井 佐飛酢

年齢 90歳

介護度 要介護1

既往歴 腰部ヘルニア

・生活

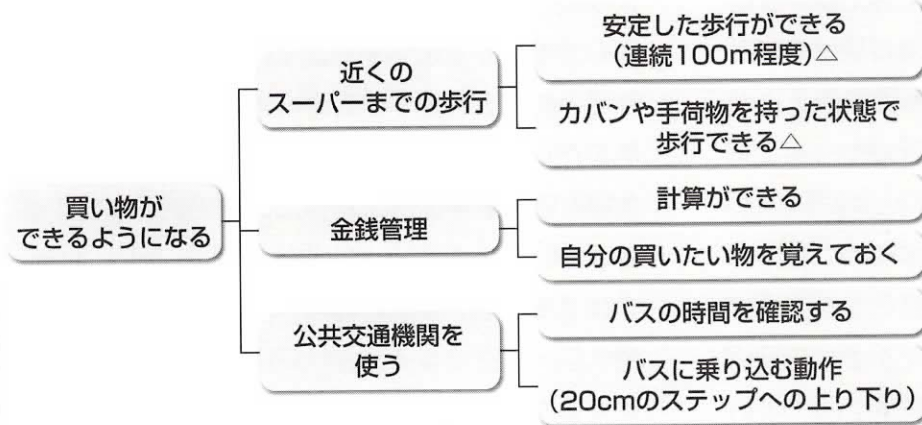
・問題点

介護の必要性			痛みの有無・部位 腰部から大腿・下腿など下半身に痺れが出る。	既往による運動時のリスク 長時間の歩行などで、下肢の痺れおよび倦怠感の出現が予想される。異常を感じた場合は、運動を中断するなどに対応する。
食事	あり	なし		
整容	あり	なし		
排泄	あり	なし		
入浴	あり	なし		
買い物	あり	なし		
余暇活動	あり	なし		

買い物が楽しみの一つであり、生活において必要な場面であるため、1人で行けるようになる必要がある。現在、屋外歩行に関してはシルバーカーを用いての移動となっているが、能力としてはT字杖歩行ができるまで向上させていきたい。また、ヘルニア増悪時の休憩場所としてシルバーカーでの外出を勧めるべきであるが、使用方法のしっかりとした指導を要する。

・現在のプログラムと目標の達成度および経過

各月の目標達成度および経過		
1カ月目	2カ月目	3カ月目
現在、立位時の動的バランス能力の向上を図り、プログラム実施中。本人は意欲的。		



通所介護計画書の署名には、機能訓練の署名も含まれています。プログラム立案時から3カ月時点で、一度本人様または家族様にご報告を兼ねてプログラムの継続をご了承していただく旨のサインを頂戴いたします。また、プログラムの変更や体調の変化などがありましたら、その都度別紙をFAXにてケアマネジャーに送信し、当事業所に保管します。その際は、その次回の機能訓練計画書内にその内容を盛り込みますので、ご了承ください。

個別機能訓練記録簿

様		平成 年 月分													
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
体操	個別														
体操	個別	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
体操	個別														
体操	個別	29日	30日	31日	備考・変更点・その他特記事項										
体操	個別														

新規オープンする事業所での 宿泊事業

「デイサービスにこりハ」「デイサービスにこスパ」に隣接する店舗での宿泊提供は、「転倒予防

のために」をコンセプトと考えています。自宅での転倒が多い時間帯である夜間や早朝の生活実態に近い住環境の中で、寝る時や起きる時の諸動作を観察し評価する場にすべく、流し台やトイレ、テーブルといった設備を整えた一般的なワンルー



[写真2] 隣接するコミュニティーサロン

ムに近い部屋を計画しています。

ただし、この事業を「地域ケア多職種協働推進等事業」とし、家族介護者支援のために総合的に
行う事業の一環としてサービス提供を行うのか、
7.43m²以上の部屋を設置し、基準が緩和された
「基準該当短期入所生活介護」の適用を受けるも
のなのかは、地域の関係各位と十分な検討を重ね
て最終的な設備整備を施してから運営に臨もうと
考えています。

2012年介護報酬改定と 今後の動向を見据えた 事業展開・展望

今秋には、新ブランド「デイサービスやぐらSPA」
を誕生させる予定です。飽和状態にあるデイサー
ビス事業だからこそ、地域の特性をとらえ、その
リアルニーズに即応でき得るシステムティックな
マネジメント体制の下、地域に根ざした小規模な
多店舗展開を考えています。

「通所系サービス事業は、潜在的なニーズを含
めた多様なニーズに応える社会資源として、いわ
ゆる「地域包括ケアシステム」の構築に寄与すべ
きだと考えている」と述べましたが、4月オープ
ンの「デイサービスにこりハ」はそのパイロット
ショップになればと考えてプロデュースしていま
す。一般型と短時間型を併設しており、そのどち
らにも隣接したところに小規模デイサービス1店
舗分の床面積を持つコミュニティーサロンを併設

しています(写真2)。さらに、生活道路にも広
い間口で面しているため、地域の人が気軽に入っ
て来やすく、なおかつウッドデッキを設置し、く
つろぎやすいデザインになっています。

また、奥の介護保険外事業の店舗では、地域の
中高年の人たちと協働で地域貢献できる活動拠点
となるような構造でデザインしていますが、地域の
自治会長との根回しなどのプロデュースも開業
前から手掛けており、じっくりと腰を据え、地域
住民で「地域包括ケアシステム」の手伝いができ
るように進めていきたいと考えています。

私が理事長を務めるNPO法人セーフティネット
NeedsMeも、2011年より本格的に高齢者を中心と
した入居支援を始めました。これは、地場大手の
賃貸物件供給会社2社との強いパイプを持つ保証
会社と連携できたことで成り立ったものです。こ
のような他業種の人々とコラボレーションを構築
し、その土地ごとに雇用や地産地消も含めた地域
との強い絆を築くことで、小さいながらも解かれ
ることのない“輪”をつくり、できる限りすき間
のないよう東西南北へと拡げていきたいと考えて
います。

体臭 口臭 便臭
ニオイ対策
介護テクニク

医学博士
五味常明

手間ヒマ、お金をかけずに
身近な物で悩み解消!

最新刊

A5判 144頁
定価 2,500円(税込)

利用者・スタッフに
負担を与える
イヤなニオイがなくなった!

**高齢者の体臭を
軽減する
食事・入浴・
排泄・清拭ケア**

医学博士 **五味常明**
五味クリニック 院長
体臭・多汗研究所 所長
日本診療外科学会 代表
流通経済大学 客員教授
ケアマネジャー

主
な
内
容

- なぜニオイが問題となるのか?~ニオイケアの重要性
- ニオイを感じる仕組み
- 高齢者のニオイケア
- 居室・トイレのニオイケア
- スタッフ自身のニオイケア